

# TDK×クレセント

## 世界陸上でVRアプリケーション紹介



世界陸上にてTDKスタッフと現地協力スタッフ

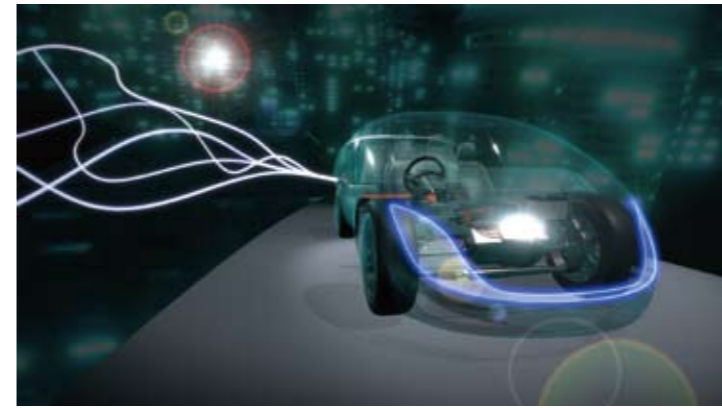
第16回世界陸上競技選手権大会が8/4～13にイギリス・ロンドンで開催された。今回のロンドン大会では、200以上の国と地域の選手が参加。選手たちの素晴らしい連日の攻防に寝不足になった方も多かったのではないだろうか。今回取材させていただいたTDKは世界陸上を1983年の第1回ヘルシンキ大会からオフィシャルパートナーとして協賛してきた。今開催では協賛企業がブースを出展するエリアであるHero Villageにて同社の製品が自動車やスマートフォンの中でどのように活躍しているかをVRで紹介したり、自社のセンサ技術を用いて、男子100m世界記録である9.58秒の間にとどこまで自分が走れるか体験するコーナー、TDKの4大技術の紹介、TDKの非接触給電技術を使った車が走る未来のジオラマタウン、などのPRをおこなった。VR展示の魅力や採用のきっかけなどをTDK株式会社 戦略本部 広報グループ ブランド・コミュニケーション 課長 岡田壮右氏(以下：岡田氏)と同 手島 央氏に取材した。

TDKといえば、かつてはカセットテープやCD-Rなど一般向けの商品を生産・販売しているBtoC企業のイメージが強かった。しかし、現在は企業向けにビジネスを展開しているBtoB企業へと変貌を遂げている。BtoB企業ではあるが、昨年(2016年)は地上波でもCM(「未来をどこまで想像できるか。」)を公開するなどTDKブランドに関心をもってもらうことについて積極的に取り組んでいる。(以下カギカッコ内全て岡田氏)

**VR展示について**  
「BtoCではなくBtoBになって、TDKの製品は表立っては目立たなくなりました。(そういったところから)TDKの製品が世の中に貢献していることを一般の方にも、もっと認知していただきたいというところがありました。皆さん、直接的にはTDKの製品を使っていなくても、PCやスマホ、自動車などの欠かせない部分にTDKの製品は多数使用されていますし、そういうこ



手島氏(左)と岡田氏(右)



クレセントの制作したVRコンテンツ

とを知っていただくのにVRを使用するのはいい方法なのではないかと思いました」

今年で16回目を数える世界陸上であるが、TDKがVRを使用してのPRするのは今回がはじめてだった。これまでは映像を流すなどの紹介であったが、VRを使用してのPRでは来場者が体験するのに列を作るほどこれまで以上に興味を引くことができたという。

### クレセントについて

「もともとクレセントさんが技術的に水準が高いというも存じておりました。また、この世界陸上の企画だけでなく、クレセントさんとはTDK歴史みらい館のVRのお仕事でも一緒にさせていただいております。TDK歴史みらい館\*は、当社のこれまでの歴史や産業との関わり、独自の技術で未来をどう変えていくかを映像やデモで体験できる場所です。こちらのコンテンツはとても良いものなのですが、場所が創業の地である秋田にあります。ですので、皆さんが気軽に行ける場所ではなく、それをどこでも楽しめる様にVR化しようということがありました。そういった経緯から、クレセントさんの技術を活かさせていただけたらということでお付き合いがはじまりました。このVRコンテンツはどこでもヘッド

マウントディスプレイをかぶるだけで、まるで来場しているかのような体験ができるというものです。こちらのVRコンテンツはリニューアルオープンから1年という節目の今年10月7日に記念イベントがありますので、その際に披露できたらと思っております」

### 世界陸上のコンテンツについて

「クレセントさんへの要望としては、TDKの製品が多く使われている車やスマホに焦点をあてていただくことでした。そして、来場する人は一般の人で専門家ではないので、そういった方にもわかりやすくTDKの製品がどう役立っているかを体感できるようにしていただきたいというのがありました。世界陸上では予想を遥かに超えるご来場をいただきました。VRを体験した方はその没入感を非常に楽しんでいただき、「面白い」ということで皆さん列を作って並ぶほど好評をいただきました」

### 世界陸上の展示について

世界陸上のブースでは、入場するとまずTDKがどういった会社でこれまでどのような活動してきたかを知ることができる同社の4大イノベーション「フェライトコア」、「磁気テープ」、「積層チップ部品」、「磁気ヘッド」のコーナーを設置。そして

未来の街がTDKの技術によりどのようなようになっていくかの展示があり、そこを抜けると、来場者はVR展示側に出て、現在のTDKの技術をVRで体感できるという作りになっていた。

### 今後について

「当社のブランディング活動としては、TDKオーケストラコンサート2017 ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団が11月23～25日まで来日しますが、その協賛をしております。また、2019年の世界陸上はカタールのドーハでおこなわれますが、そちらにも協賛(同社は2019年までオフィシャルIAAFパートナー契約を結んでいる)しております。今回の世界陸上のVR展示は、社内でも好評でした。他の場所でも置いてほしいという声もありますので、内容をモディファイしながら、こういった活動は続けていきたいと思っております。

\*TDK歴史みらい館:2005年(平成17年)に創業70周年記念事業として、TDKのあゆみをモノづくりの歴史から紹介する「TDK歴史館」として建設され、2016年(平成28年)に80周年記念事業の一環として「TDK歴史みらい館」にリニューアルされた。

取材：立石伸雄 構成：菅崎英展(Video Journal)



来場者の列ができる程人気を博したVR展示



TDKの歴史や技術を紹介



TDKのセンサーで世界記録やチャーターと競争を体験